

令和元年度(2019年度)

管理事業名	地域医療支援事業				総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 4 健康・医療のまちづくり 施策 3 地域医療体制の充実
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 1 保健衛生総務費
部局名	健康医療部	予算執行所属	地域医療推進室 (健康まちづくり室、保健医療室)			
予算大事業名 一般事務事業 地域医療支援事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
<b>事業の目的と概要</b> 吹田市医療審議会を開催し、救急医療や在宅医療をはじめとした地域医療の充実を図ります。 地方独立行政法人市立吹田市民病院が担う政策医療等に要する財源を措置することにより、救急医療等を確保します。 豊能医療圏に属する4市2町(吹田市・豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町)が共同で設立した「豊能広域こども急病センター」の運営費を負担することにより、休日及び夜間の小児救急医療を確保します。 豊能医療圏に属する4市2町(吹田市・豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町)が共同で実施している救急医療対策事業の経費を補助することにより、2次救急医療体制を確保します。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
豊能広域こども急病センター吹田市民の受診患者数	人	6,813	6,467	6,389	全体の受診患者数のうち、吹田市民の延べ受診患者数
豊能二次医療圏救急医療対策事業の補助金対象病院における救急患者受入数	人	14,150	15,047	15,782	豊能二次医療圏救急医療対策事業の補助金対象病院における救急患者受入数(市立吹田市民病院、済生会千里病院、済生会吹田病院、井上病院、大和病院、北摂三木病院(～H29/12)、吹田徳洲会病院、協和会病院)
成果の説明	豊能広域こども急病センターの受診患者数のうち吹田市民が占める割合は、例年、豊中市に次いで多く全体の約32%を占めており、休日及び夜間の小児救急医療提供体制の確保につながっています。 豊能二次医療圏救急医療対策事業の対象病院に財源を措置することにより、救急患者の受入体制の確保につながっています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	7,124	6,631	-	△6,631
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	5,294	9,927	9,927	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	563,221	580,778	255,069	△325,709
経常収入 小計(a)	575,639	597,336	264,996	△332,340
給与関係費	361,437	352,054	227,099	△124,955
物件費	8,096	6,856	3,215	△4,841
維持補修費	869	-	-	-
社会保障扶助費	261,443	252,322	-	△252,322
負担金・補助金・交付金等	2,004,434	1,093,927	897,415	△1,106,517
特別会計への繰入金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	29,568	27,722	19,763	△7,960
退職手当引当金繰入額	4,119	8,087	△78,521	△86,608
支払利息	86	488	557	69
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	2,670,053	1,741,457	1,069,528	△671,929
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△2,094,414	△1,144,121	△804,532	339,589
特別収入	-	-	-	-
特別支出	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△2,094,414	△1,144,121	△804,532	339,589
一般財源充当額	1,608,255	1,169,035	952,854	△216,181
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△486,158	24,914	148,322	123,408

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 その他	減少の主な理由は、過年度分運営費負担金の精算により、44,032千円の返還があったため。
負担金・補助金・交付金等	減少の主な理由は、運営費負担金の支払額について平成30年度は1,072,217千円であったのが、令和元年度は876,932千円となったため。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	575,639	597,336	264,996	△332,340
行政サービス活動支出	2,698,894	1,766,370	1,172,225	△594,145
行政サービス活動収支差額	△2,123,255	△1,169,035	△907,230	261,805
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	515,000	-	-	-
財務活動支出	-	-	45,624	45,624
財務活動収支差額	515,000	-	△45,624	△45,624
収支差額 合計	△1,608,255	△1,169,035	△952,854	216,181
一般財源充当額	1,608,255	1,169,035	952,854	△216,181
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	金額
(行政サービス活動収入)	
市立吹田市民病院人件費負担金	210,711千円
(行政サービス活動支出)	
市立吹田市民病院運営費負担金	876,932千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市内二次救急病院の受入救急患者1人あたりのコスト	平成29年度	14,150 人	1,036 円	市民1人あたり939円のコストがかかっています。経常経費のうち「豊能二次医療圏救急医療対策事業に係る負担金」(14,827千円)を「実績」で割って円単位で算出しています。
	平成30年度	15,047 人	975 円	
	令和元年度	15,782 人	939 円	
豊能広域こども急病センター利用市民1人あたりのコスト	平成29年度	6,813 人	1,947 円	経常経費のうち「豊能広域こども急病センター事業に係る負担金」(5,172千円)を「実績」で割って円単位で算出しています。令和元年度においては、4月から5月にかけての大型連休における従事者の出勤日数の増加にともなう報酬の増加などから、1人当たりの単価が増加しています。
	平成30年度	6,467 人	557 円	
	令和元年度	6,389 人	809 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	73,347	65,387	△7,960
未収金	-	-	-	地方債	45,624	45,624	△0
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	27,722	19,763	△7,960
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
				その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	761,009	761,009	-	固定負債	881,239	725,465	△155,774
土地	761,009	761,009	-	地方債	584,276	538,652	△45,624
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	296,963	186,813	△110,149
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	954,585	790,852	△163,733
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-	純資産	3,107,268	3,271,001	163,733
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	3,300,844	3,300,844	-	純資産の部合計	3,107,268	3,271,001	163,733
出資金	3,300,844	3,300,844	-				
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	4,061,853	4,061,853	-
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	4,061,853	4,061,853	-				

Ⅲ 財務構造分析

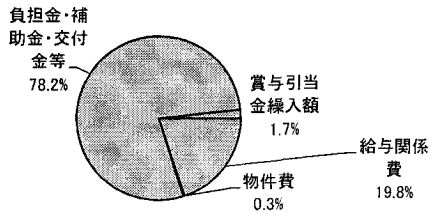
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事日数	実人数	
	30人	人	日	19人	168,340
給与関係費等	168,151千円	千円	千円	189千円	
内、時間外勤務手当	11,563千円				

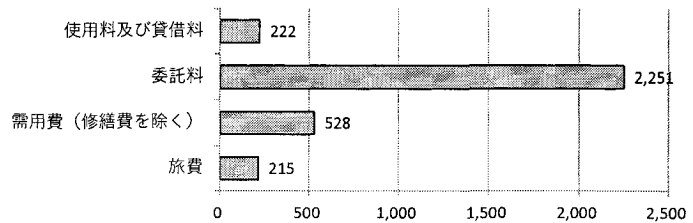
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
固定負債 地方債	平成30年度末時点では、584,276千円借り入れていましたが、令和元年度には45,624千円償還を行い、残高が538,652千円となっています。

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		59.6	66.2	78.2	12.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものは、負担金・補助金・交付金等が897,415千円(78.2%)、給与関係費227,099千円(19.8%)となっています。負担金・補助金・交付金等の内訳は、地方独立行政法人市立吹田市民病院に対する運営費負担金876,932千円、豊能広域こども急病センター管理運営負担金5,172千円、豊能二次医療圏救急医療対策事業運営費補助金14,827千円となっています。平成26年4月に市立吹田市民病院が独立行政法人に移行するに当たり、設立団体である市から出資金として3,300,844千円を出資しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

豊能広域こども急病センター事業については、小児の一次救急の整備により、機能分担が図られ、市民病院等の二次救急医療機関の負担が軽減されていることから、継続的な支援が必要であると考えます。豊能二次医療圏救急医療対策事業については、入院を必要とする重症患者を受け入れる二次救急医療機関の運営に対し、4市2町が共同で財政支援を行うことにより、二次救急医療体制の確保・整備が図られており、今後も継続した支援が必要であると考えます。地方独立行政法人市立吹田市民病院については、地域の中核病院として、採算ベースに乗らない救急医療や小児医療等の政策医療を担う重要な役割が求められており、これらの地域が必要とする医療を安定的かつ継続的に提供していくためには、運営費負担金による財政支援が必要であると考えます。